

CASE

学内でも日常的に 学生と挨拶をかわすことが 05 近所づきあいのマナーにもつながる。

大 学 生 と 近 所 づ き あ い

学生時代はとかく友人やアルバイト仲間などとの交流だけになり、近所づきあいは希薄になりがちです。大学生といっても、近隣の住民と気の利いたあいさつを交わしたり、地域の会合に参加したりするほど社会的・精神的に成熟しているわけではありませんし、交流そのものがわずらわしいと感じる学生も少なくないでしょう。とくに最近の学生はコミュニケーション能力が低下しているうえ、地域・集合住宅全体の結束力弱化もあいまって、隣人の顔すら知らないことも珍しくありません。

しかし、地震や台風などの災害時には近隣住民同士の助け合いが非常に大切となり、同時に心強さも感じるはずです。また、空き巣や通り魔などの犯罪も住民のつながりが強い地域では発生しにくく、かりに発生しても、自分の顔を覚えておいてもらえば無用な疑いをかけられることもありません。とりたてて悪意にしたり、好印象を与える必要はありませんので、最低限の交流は心がけるようアドバイスしてください。

ご 近 所 づ き あ い の マ ナ ー

- ①基本は何といってもあいさつ。「おはようございます」「こんにちは」程度で十分なので、顔を合わせたらなるべくこちらから声をかける心構えをもつ。
- ②近所づきあいでもっともトラブルを招きやすいのが騒音。テレビ・ステレオ、楽器の演奏などは音量に十分配慮する。また、友人と夜中まで騒ぐ、深夜・早朝に掃除機を使う、室内で激しい運動をする、などのマナー違反にも注意する。
- ③ゴミ出しのマナーも問題になりやすい。必ず決められた曜日と時間、場所、方法を守る。中身の散乱防止や、粗大ゴミ、個人情報の処理にも気を配る。
- ④集合住宅では共用部分に物を置いたり、玄関・廊下を汚したりしないこと。また、ベランダでのタバコや布団たたきなども迷惑になる場合があるので気を配る。引越して来た際は両隣、真上、真下の住人にあいさつに赴くのが基本。